

“タイの学生生活”から見る**真の勉強**とは何なのか

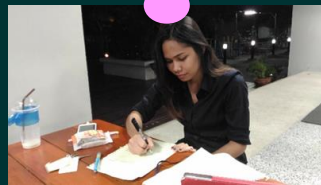
青山学院大学 地球社会共生学部 学籍番号 1A115224 氏名 古幡 柚子

なぜ？



タイで生活→何が**興味**? →生活に興味→国は違えども同じ大学生でありながら全く異なる生活を送っているタイの大学生に**焦点**
タイの大学生の**意識の違い**に着目した。

どのように？



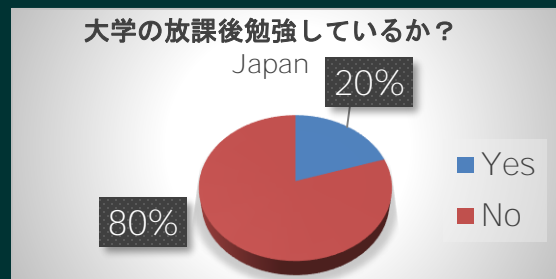
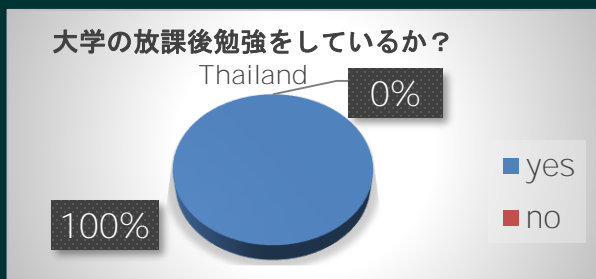
タイという国についての文化のことや国自体のことと知らない→文献調査・聞き取り調査

→それを踏まえ実際にタイの大学生20人ほどにアンケート調査を行った。

→3人の異なる境遇における学生にインタビューを行い詳しく聞くとともにライフストーリーも聞いた。

将来 生活
趣味 教育 etc...

→ 結果



一見、タイの大学生はとても勉強しているように見える大学での勉強で比べてみても、**価値観 文化の違い**を実感

タイの大学生の**大学生生活**と日本の大学生の**大学生生活**での“勉強”の捉え方がちがう！！

タイの大学生

大学での勉強量も違う“大学での授業に真剣に取り組むこと” “大学に通い授業受ける事” = **勉強**

日本の大学生

“大学の授業だけが勉強でない”アルバイト/サークル活動も含め大学生生活 = **社会に出る前の準備としての大学生生活**

	タイ	日本
クラブ・サークル	14%	55%
授業時間	3時間	1時間30分
アルバイト	15%	64%
制服	あり	なし

クラブ、サークルは存在するが、入っている人はすくない
大学の授業は3時間と長く日本より内容もヘビーのように感じた
アルバイトをしている人はほほいない。勉強が忙しくできないという学生が居かった
制服はほほ大学では存在する。またかなりの**学歴社会**

国の文化や背景によって“勉強”の捉え方も違う

タイでの大学の勉強は働く前の知識や技研を完璧に教わる場